

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	self-A・もみじ	事業所番号	3410214906
住 所	広島市西区草津新町2-17-17 1 F	管理者名	近藤 直哉
電話番号	082-275-4910	対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>1.活動場所 広島市西区草津本町6-3 有限会社 坂井屋</p> <p>2.実施日程 令和1年11月より、16～19回/月の実施</p> <p>3.実施した生産活動・施設外就労の概要 手造り練り物の製造業務 商品梱包・出荷業務 軽作業（伝票整理・シール貼り等）</p> <p>4.利用者数 等 ・8～10名/1回</p> <p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい 地域の中で人手不足が顕著である老舗蒲鉾屋と連携を図ることで、経営者は人手不足の解消及び経費削減のメリットを実現することができた。弊社としては、地場産業を通じて地域経済との結びつきを図るとともに、弊社の生産活動の向上、利用される方にとっては、「かまぼこ」に携わることで地域社会に貢献している気持ちが芽生え、生きる活力を感じることができていると思われる。</p> <p><成果></p> <p>先方の操業日に合わせて16～19回/月実施。 作業工程がある程度決まっている環境での仕事をする ことで、精神的な安定が図れ、出勤率が高く保たれた ままで継続して利用できる方が増加した。 課題としては、先方の実情に応じた作業配置になっ ている為、各利用者の作業スキルが頭打ちになっている 状況で、新たなスキル向上の機会が生まれにくいこと が挙げられる。</p>	<p><活動の様子></p> <p>【商品袋詰め作業】</p>  <p>【原材料（ごぼう）洗浄作業】</p> 
--	--

連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>継続して就労できている利用者の定着率が増加している中で、利用者の個々の能力に差が生じており、ニーズに対応できる利用者が限られているのが現状である。障害特性もあり、スキルアップに限度があるので、個々の能力に応じた就労機会の提供が今後の課題に挙げられる。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>仕事の質と量が高い水準で求めているので、そこを維持向上させるにはどうしたらよいかを双方の知恵を出し合って取り組んで行く必要がある。利用者の能力に合わせすぎない、逆に能力を引っ張り上げる意識が双方に不可欠でその継続が連携強化に繋がっていくと考えられる。</p>			
連携先企業名	有限会社 坂井屋	担当者名	高崎 明彦